讀賣テレビ放送 様

報道編集サーバーシステム納入事例

カスタマー

讀賣テレビ放送株式会社
www.ytv.co.jp
Japan

チャレンジ

テープベースのリニア編集システムからファイルベースシステムへの完全移行にあたり、将来の拡張性やフォーマット対応、および、ファイル化のメリットが最大になるよう、システムを構築

グラスバレー・ソリューション

素材共有サーバー「K2-SAN」、メディア・アセット・マネジメント・システム「STRATUS」、ノンリニア編集ターンキーシステム「HDWS 3GS Elite」、回線収録スケジューラー・システム

ベネフィット

新世代のサーバーシステムとノンリニア編集システムとの高度な融合により、収録素材の即時編集、メタデータの連携機能など、効率的なファイルベースワークフローを実現

讀賣テレビ放送様は、2012年度、報道向け収録・編集サーバーシステムとして、素材共有サーバー「K2-SAN」、メディア・アセット・マネジメント・システム「STRATUS」、ノンリニア編集ターンキーシステム「HDWS-3GS Elite」（17式）、および、新開発の回線収録スケジューラーシステムを導入、2013年1月より運用を開始されました。

バックグラウンド

2008年度に制作向け編集システムとして、素材共有サーバー「EDIUS Workgroup Server」とノンリニア編集ターンキーシステム「HDWS-3500」を導入頂きました後、先進のプロキシ編集機能や製品の安定性を高くご評価頂き、今日までシステムの拡張を経て番組編集にてご使用頂いております。また、2010年度には報道情報番組の編集用として、「EDIUS Workgroup Server」とノンリニア編集ターンキーシステム「REXCEED M6000HDIO」を導入頂いております。これらのシステムの実績により、今回、グラスバレーの報道向け収録・編集サーバーシステムをご選定頂きました。

グラスバレー・ソリューション

グラスバレーの素材共有サーバー「K2-SAN」は、最新のITテクノロジーを使用した新世代の製品で、ビデオ編集に特化した高帯域と低レイテンシー、スケーラブルな拡張性、リダンダント構成による信頼性を兼ね備えています。今回のシステムでは、最大で約3ヶ月分のデータを保存できるよう、約107TB（50Mb/s記録の場合、約4,000時間）の容量を持っています。また、将来の更なる編集システムの増設にも十分対応できるよう、約26Gb/s（50Mb/s記録の場合、約450ストリーム）の豊富な帯域を確保しています。

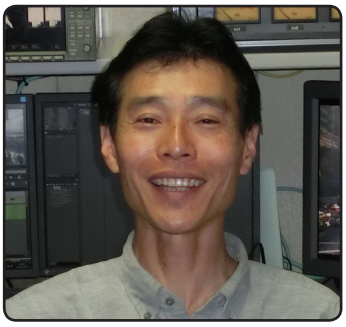
メディア・アセット・マネジメント・システム「STRATUS」は、新世代の素材管理システムで、強力なメタデータ管理、シンプルで簡単に操作できるクライアントアプリケーション、プロキシによる簡易プレビュー、ノンリニア編集システム「EDIUS」との連携など、ファイルベースワークフローを構築するための豊富な機能を備えています。クライアントアプリケーションは、完全に日本語化されたユーザーフレンドリーなGUIを備えており、編集マンだけでなく、記者、デスク、ディレクターなど、幅広いスタッフに活用頂けるため、収録、プレビュー、編集における情報共有、および、並行作業を可能にします。

ノンリニア編集ターンキーシステム「HDWS-3GS Elite」は、EDIUSをベースとしたシステムで、数多くのファイルフォーマットのサポート、レンダリングフリーのリアルタイム編集性能、即時編集を可能にする時差編集機能、高速なファイルエクスポートなど、限られた時間の中で完パケを仕上げる必要のある報道ニュース編集に最適な製品です。自社開発による高い信頼性を持つ筐体、ビデオI/Oインターフェースなどのハードウェア技術と、高速処理を実現するソフトウェア・アーキテクチャー、高性能コーデックなどのソフトウェア技術を融合し、快適な操作性を実現しています。

回線収録スケジューラーシステムは、讀賣テレビ放送様向けに開発された特別仕様のシステムで、一般的な回線収録スケジューラー機能に加えて、ビデオサーバーへの収録とHDCAM VTRへのバックアップ収録機能、基幹ルーターの切り替え制御、「STRATUS」へのメタデータ連携機能を搭載しています。また、スケジューラークライアントのGUIは、讀賣テレビ放送様の収録チャンネル数に最適化され、1画面表示で高い視認性が得られるよう、設計されました。管理サーバー、および、スケジューラークライアントは完全に二重化されており、高い信頼性を兼ね備えています。

システム・インテグレーション

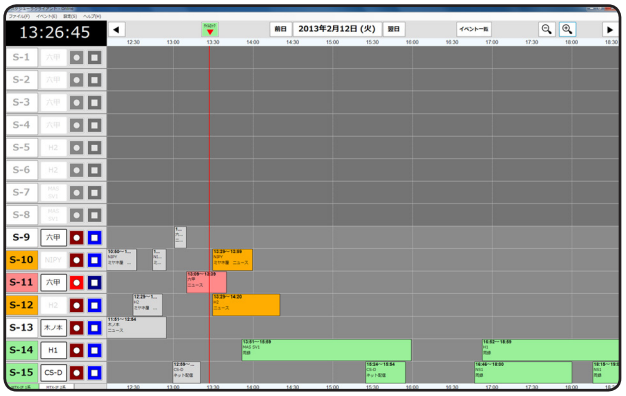
これらのシステムを高い次元でインテグレーションすることにより、回線収録、プレビュー、編集、および、素材管理を含む、新世代のファイルベース報道編集ワークフローが構築されました。システム全体の環境構築にはActive Directryを活用し、ユーザー毎のアクセス権限設定、編集マン毎の編集環境の保持、グループポリシーによるデスクトップ環境の制限など、システム管理者による柔軟な編集環境の構築を可能にしました。万が一の障害発生時には、SNMPベースの障害検知システムにより、指定された管理者へメールで発報され、迅速に復旧プロセスが開始できます。更に、「K2-SAN」は、障害発生時においても、ストレージのパフォーマンスが低下しないため、運用へ影響を与えることなく、バックグラウンドで復旧プロセスを進めることが可能です。



「リニア編集システムから完全移行するためのファイルベースシステムには、報道編集ならではの特徴である、放送直前までの追い込み編集に対応するためのスピードと安定性が求められていました。グラスバレーの報道編集システムは、収録中素材の即時編集や最新フォーマットへの対応、リアルタイム編集性能が優れているため、今後、導入されるXDCAMフォーマットをはじめ、多くのテープレスメディアを効率よく編集可能であること、国内で製品開発されているため、我々の希望に合った製品やサポートサービスを選択できたことは、機種選定を行う上で重要なポイントでした。また、EDIUSは操作が分かりやすく、現場の編集マンの習熟度が短時間で向上したため、当初3年間で行う予定であった移行計画を前倒しして、2013年度にファイルベースへ完全移行することが決定しました。更なる製品性の向上に期待しています」

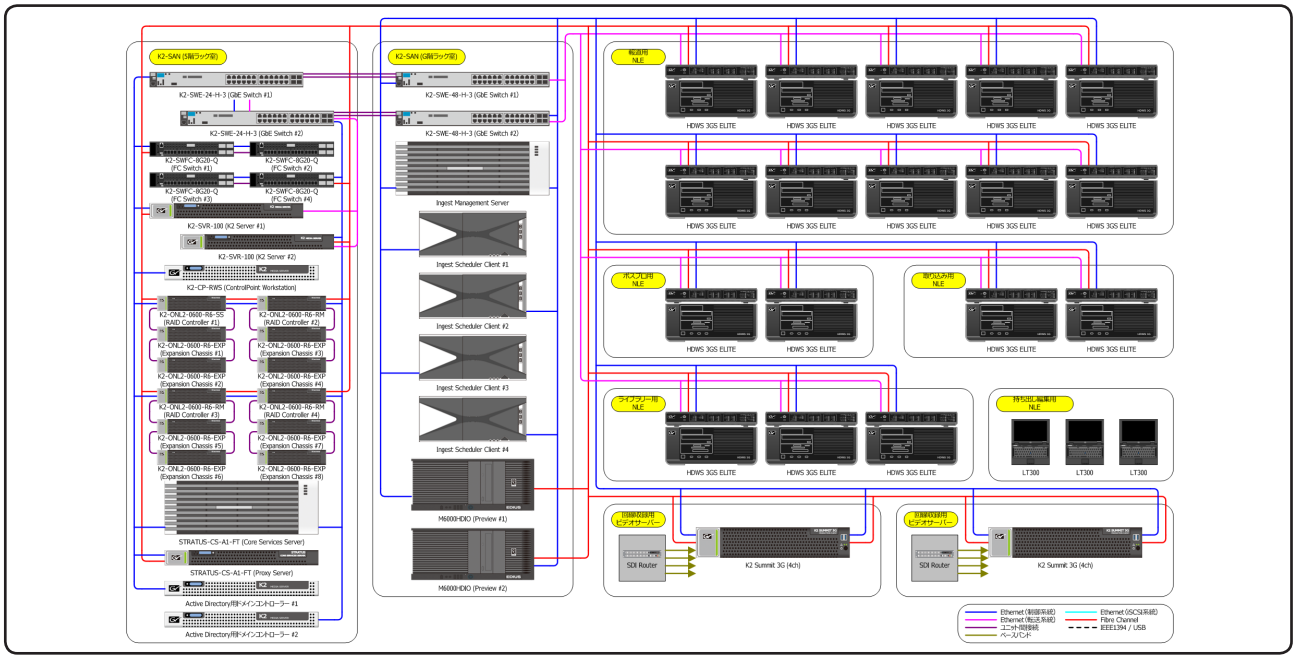
讀賣テレビ放送株式会社　技術局 テクニカルマネージャー　岳崎 勉 氏

回線収録スケジューラーシステム



- 讀賣テレビ放送様向けに開発された特別仕様のシステム
- ビデオサーバーへの収録とHDCAM VTRへのバックアップ収録機能により、ファイル化のメリットとバックアップ収録による信頼性を両立
- 基幹ルーターの切り替え機能により、収録開始前のルーター切り替えを自動化
- 「STRATUS」へのメタデータ連携機能により、イベント名、説明、ルーターソースなどの情報を「STRATUS」のメタデータとして反映
- フォルダーの管理機能により、カテゴリー毎に収録日時フォルダーを自動作成し、指定の命名規則でファイル名を自動設定
- ハードウェアのインターフェースボックスには、クラッシュRECボタンが搭載されているため、緊急時の収録にも対応
- 管理サーバー、スケジューラークライアントは二重化構成を採用

システムブロックダイアグラム



●予告なく仕様または外観の一部を変更することがあります。●グラスバレー製品の名称はGVBB Holdings S.a.r.l.の商標または登録商標です。●その他の商品名は各社の商標または登録商標です。

最新の製品情報はホームページで	http://www.grassvalley.jp/
ご購入前のお問い合わせは〈カスタマーメールサポート〉へ	http://www.grassvalley.jp/ask

●取扱代理店

grass valley　グラスバレー株式会社

●神戸本社：〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 19階
●東京本部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-12-8